

令和7年度 自彊小学校 後期学校評価結果

自彊小学校では、学校教育目標「自らつとめ励む子」を実現するために、本年度は「日本一笑顔があふれる自彊小」を重点目標として取り組んでいます。この重点目標に向けた取組を通して、「主体性」「コミュニケーション力」「自律心」「協働力」の資質・能力の育成を目指しています。

11月に児童及び保護者の皆様に御協力いただいた学校評価アンケートの結果を報告いたします。この結果を今後の改善に生かし、本校の教育活動がより良いものになるよう努めます。

◎選択式項目について

質問項目	児童	保護者
学校が楽しい。	89%	90%
学校に信頼できる先生がいる。	93%	88%
気持ちのよいあいさつができる。	83%	73%
相手を傷つけない言葉遣いができている。	87%	78%
学習した内容が理解できている。	92%	82%
生活の中で、自分から課題を見つけて解決できる。	82%	60%
やりたいことよりも、やるべきことを優先することができる。	87%	54%
教室が自分にとって居心地のよい場所になっている。	87%	88%
先生や友達、自分のよさを知ってくれている。	92%	94%

※調査項目の中から抜粋。表の数値（％）は肯定的な評価の割合。

今回のアンケートでは、「楽しさ」や「教職員への信頼」などの**学校生活の基盤となる項目は引き続き高い水準**にあり、全体として安定した教育環境が継続されています。特に前期の課題であった「自律心」は保護者の皆様の評価も上昇し、学校の指導が家庭生活にも広がりつつある成果が見られました。また、**学習内容の理解度も向上**しており、授業改善が子供たちの自信につながっています。

一方で、「**主体性**」に関しては**児童と保護者の評価に依然として開き**があり、学校での学びを家庭や社会で能動的に発揮するまでには至っていないのが現状です。

これらを踏まえ、次年度は「**主体性**」と「**他者意識**」の育成を重点に据えた**教育活動**を展開していきたいと考えています。自律して動く力に加え、自分だけでなく周りにも目を向け相手を尊重する心を育み、互いを認め合える環境を整えます。今後も学校と家庭が「**教育の両輪**」となり、同じ目線で子供たちの健やかな成長を共に支えていきましょう。

◎保護者の皆様からの御意見について

保護者の皆様から、本校の教育活動に対し多くの具体的かつ貴重な御意見をいただき、厚く御礼申し上げます。いただいた声を真摯に受け止め、次年度のより良い学校づくりに活かしてまいります。

【学校での学習について】

「ICTの活用も良いが、読み書きなどの基礎学力が疎かにならないか不安だ」「授業の進め方が以前と変わり、子供が本当についていけないのか心配である」といった貴重な御意見をいただきました。現在、文部科学省は「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を掲げています。本校ではこれに基づき、自分に合った方法で仲間と協力して課題を解決する力を育むため、授業改善に取り組んでいます。学びの土台となる基礎学力も重視し、授業ではタブレットやノートを目的に応じて自ら選べるようにしています。一人ひとりが確実に目標に到達できるよう、丁寧な個別の支援に努めてまいります。新しい学びへの転換期における子供たちの成長を、温かく見守っていただければ幸いです。

【家庭学習について】

「自主学習と言われても、何をすればよいか親子で迷ってしまう」「家庭でつきっきりで教えるのは難しく、負担が大きい」といった御意見をいただきました。家庭学習においても、単に与えられた内容をこなすだけでなく、自ら必要な学びを選択する主体的な姿勢を大切にしたいと考えています。自分で決めて取り組む経験こそが、将来の意欲や自信に繋がると考えているからです。「課題を見つけるのが難しい」という不安に対し、学校では授業の中で挑戦のヒントや友達の工夫を紹介するなど、子供たちが自分なりに踏み出しやすい支援を工夫してまいります。御家庭におかれましては、取り組む姿勢を認め、励ます「見届け」をお願いいたします。

【学校生活について】

「挨拶ができていない子供が多い」「友達同士のトラブルを子供同士で解決できるようにしてほしい」という御意見をいただきました。挨拶は、人間関係を築く土台として、学校と家庭が共にはぐくんでいくものと考えております。学校におきましても、教職員が率先して子供たちと心を通わせ、明るい挨拶が交わされるよう取り組んでまいります。また、友達同士のトラブルについては、双方の思いを丁寧に聞き取り、子供自身が納得して解決策を考えるプロセスを大切に指導してまいります。状況を正しく共有し、学校と御家庭で共にお子様を見守っていくため、今後も迅速な連絡を継続してまいります。不安なことがございましたら、いつでも遠慮なく御相談ください。

【学校行事について】

「音楽発表会の時期変更が急で、仕事の調整が非常に難しかった」「行事の準備期間が短く、子供たちが十分に練習できていないと感じる」といった御指摘を真摯に受け止めております。次年度の計画に際しては、年間を通じた行事の配置や開催時期を一から再検討してまいります。御多忙な保護者の皆様への早期告知を徹底するとともに、感染症や気候の影響を考慮した最適な時期を慎重に判断いたします。また、教職員間の連携を密にし、指導の質と準備時間を十分に確保することで、子供たちが主体的に活躍し、大きな達成感を実感できる行事運営を目指してまいります。